



予算・決算常任委員会での主な **質疑・答弁**

第1回定例会初日の4月14日、町長から提案された令和8年度城里町予算（6会計）について詳細に審査するため、予算・決算常任委員会に付託し、審議されました。

委員会での主な質疑・答弁の主なものは次のとおりです。



一般会計

一般会計は、町税や地方交付税などの一般財源を主な収入源とし、福祉・教育・道路整備など住民生活に直結する基本的な行政サービスの歳入歳出を管理する会計

問 令和5年度に「健康増進施設ホロルの湯」にて入湯税の一部未納があったが、現在は問題無く納税されているか。

答 昨年度は、期日どおりに納税されていることを確認している。

問 ガソリンの暫定税率が廃止されたが、地方揮発油譲与税はどうか。

答 令和8年度の減収分は地方税措置される予定。次年度以降は、未定のため国の動きを注視する。

問 過疎対策事業債の実質的な町の負担はどの程度か。

答 過疎地域の事業に対して充当でき、償還金の70%が交付税措置されるので、30%が町の実質的な負担。

問 特定空家等解体撤去補助事業における特定空家とは、どういった空家か。

答 特別措置法に基づき町が認定した、倒壊や衛生上の問題など、周辺に著しい悪影響を及ぼす空家のこと。



▲予算・決算常任委員会1日目の様子

問 うぐいすの里用地購入事業について、購入の経緯と単価は。また、今後の利活用の方針は。

答 現在、うぐいすの里は一部借地になっており、返却のための現状復旧にかかる費用が多額のため、1㎡あたり約340円で用地を購入する。今後の利活用については未定。

問 路線バス待合環境快適化事業で新しく設置する待合所及び駐輪場は、どこを予定しているのか。

答 待合所と駐輪場を1ヶ所ずつ、詳細な場所は現時点では未定だが、国道123号線沿いを予定している。

問 2人に1人が「がん」、3人に1人が生活習慣病になると言われている時代。健診のネット予約は便利だが、ネットは全ての人が利用できるわけではないのではないか。

答 若者の利便性を考えてネット予約ができるが、電話での予約も受け付けている。町の受診率は県内でも高い。

問 近年イノシシの数が増えている。農作物への被害を防止する電気柵への補助金はあるか。

答 有害鳥獣防護柵設置補助事業として、購入費の3分の1（上限3万円）の補助がある。また、県より同額の補助があるので、合計6万円（上限）まで補助される。

問 スtockヤードが新しく決まっていなのに、現在の場所を公園にするのか。

答 早急に次の場所を決めてお示ししたい。

問 町営住宅子育て世帯向けリフォーム修繕事業は何戸を予定しているのか。

答 3戸を予定している。和室、浴室などを子育て世帯向けのリフォーム行う。

問 中学校部活動における、地域クラブ活動への移行状況は。

答 野球、サッカー、バスケットボール(男女)、ソフトテニス(男女)、剣道、吹奏楽は移行済み。



▲予算・決算常任委員会2日目の様子

国民健康保険特別会計

国民健康保険事業を運営するための特定の財源を、一般会計とは区別して管理する専用の会計

問 人間ドッグ・脳ドッグの助成実績は。また、助成対象数を増やすことはできないか。

答 令和7年度実績で219名。うち、婦人科検診92名、脳ドッグ18名。現在の予算額で希望者全員に対応できている。

問 子ども・子育て支援金制度は、国保加入世帯に負担になるのでは。

答 国保加入者以外の社会保険加入者等も同様に徴収するもので、国で決まった制度のため、周知に努めていく。

介護保険特別会計

介護保険制度を運営するための特定の財源を、一般会計とは区別して管理する専用の会計

問 介護サービスの自己負担は、どの程度の年収から3割負担になるのか。

答 年間の合計所得が220万円以上の方が3割負担の対象になる。

水道事業会計

地方公営企業法に基づき、水道事業が独立採算制で経営するための公営企業会計

問 直近の有収率(浄水場から送り出した総配水量のうち料金収入につながった割合)はどの程度か。

答 令和6年度実績で75.11%。

下水道事業会計

地方公営企業法に基づき、下水道事業が独立採算制で経営するための公営企業会計

問 下水道施設更新事業は本年度何カ所を予定しているのか。

答 スtockマネジメント計画に伴う管路調査を行い、その調査結果により決定する。

問 上入野地区農業集落排水を廃止し、公共下水道に統合したが、他の農業集落排水も統合する予定か。

答 段階的に公共下水道へ統合する予定。

令和8年度 予算の規模 (第1回定例会に提出された議案の予算規模)

区分	令和8年度	令和7年度	増減率	増減率(%)
一般会計	111億3800万円	132億8900万円	▲21億5100万円	▲16.2
特別会計	49億7323万円	51億906万円	▲1億3583万円	▲2.7
企業会計	33億2044万円	29億1373万円	4億670万円	14.0
計	194億3167万円	213億1180万円	▲18億8013万円	▲8.8